



# 12.2 現業職場から 労災一掃集会



内田補佐 現況報告



東部管理 集会風景

**安全はすべてにおいて優先する!!**



松本委員長 挨拶



西部管理 集会風景

## 重要 Point 公務災害等の現況報告 & ヒューマンエラー 労働災害撲滅

各自治体では安全衛生の“無法地帯”と叫ばれる現業職場における

### 死亡災害・労働災害を一掃するための集会

清掃職場のみならず、現業職場における労働災害の撲滅を目指す目的で開催される『現業職場から労働災害を一掃するための職場集会』が、今年も12月に入り各職場でそれぞれ取り組みの再構築に向けて行われています。

東部管理センターでも、2日（金曜）に午前業務終了後から事務所サイドと連携し合同による開催で、これまでの現業職場における「死亡災害」および「労働災害」に見舞われた方々に対し、決して“対岸の火事”として終わらせることなく、我々自身の今後の課題でもある点や改善する部分の見直しの機会と捉え、事故を未然に防ぐ対策を改めて職場全体で考える『重要な問題解決への糸口』であることを再度認識する上でも、貴重な集会となりました。

【職員区分別・公務災害発生件数表 令和2年度～総務省～】

| 職員区分            | 対象職員数    | 公務災害件数 |
|-----------------|----------|--------|
| 清掃事業職員          | 42,118人  | 982人   |
| 警察職員            | 289,917人 | 3,491人 |
| 消防職員            | 162,778人 | 1,197人 |
| 義務教育学校職員        | 691,964人 | 5,189人 |
| 義務教育学校職員以外の教育職員 | 336,361人 | 2,961人 |

全国の現業職場を中心に、有害・危険箇所等が放置されている例も多く存在し、いつ重大災害が発生してもおかしくない状況でありながらも、安全対策等を講じることもなく見過ごされている『安全衛生の無法地帯化』が多くの自治体で確認されているのが現実であります。

我々の職場全体でも、今一度、「安全作業マニュアル」等での作業手順の確認を含め、職場における危険箇所等の再点検（再確認）強化を図りながら、ハインリッヒの法則：『1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背後には300の異常が存在する』を再度、肝に銘じながら不安全行動・不安全状態の一掃に努めなければならないと、改めて感じました。内田（所長補佐）からも、今年度の月1回開催の労働安全小委員会における「ヒヤリハット」の報告（連絡）を職員全体に呼び掛ける取り組みを継続し、これからも引き続き「ごみ収集業務における安全への徹底」を周知した上で、年末・年始に向け更なる気を引き締めた行動および作業に従事するように促した。

今回、ヒューマンエラー（人為的過誤・失敗）についても触れ、ごみ収集現場での実際の経験（体験）事例を頭に浮かべながら、様々な災害・事故等について検証する上で『12の分類』が存在し、①無知・未経験・不慣れ②危険軽視・慣れ③不注意④連絡不足⑤集団欠陥⑥近道・省略行動本能⑦場面行動本能⑧パニック⑨錯覚⑩中高年の機能低下⑪疲労⑫単調作業等による意識低下…があり、現場作業に携わる人達の「安全意識の向上」をどう考えるのか？直接的・潜在的な原因を探りながら、効果的な対策が求められていることを強く感じました。

【職種別・公務災害認定状況表 令和2年度～総務省～】

| 職種          | 対象職員数    | 公務災害認定件数      |
|-------------|----------|---------------|
| 清掃職員        | 30,440人  | 946人（死亡：2人）   |
| 警察官         | 261,912人 | 3,373人（死亡：6人） |
| 消防吏員        | 161,931人 | 1,203人（死亡：8人） |
| 教育公務員       | 846,503人 | 7,323人（死亡：5人） |
| 医師（歯科医師含む）  | 26,016人  | 1,116人（死亡：4人） |
| 看護師         | 128,693人 | 3,421人        |
| 保育士（寄宿舍指導員） | 97,068人  | 858人          |
| 調理員         | 20,018人  | 535人          |

これまでの“財政危機”を名目とした「現業職場の削減（切り捨て）」改革を強行して行った結果、各職場における「超勤問題」「呼吸器疾患」「腰痛」「眼疾患」「精神疾患」を含む、心身のストレス等に起因するメンタル不調などの社会問題が非常に大きくなったのも事実であり、その中でも事務職（一般職）への任用替え等に伴う、仕事内容（やり方）の違いで、思い悩む職員も増え、ゆとりの無い職場環境における「コミュニケーション不足」も多く報告されています。

これからも、公務災害・労働災害を一掃し『快適な職場環境』を目指し、**安全無くして労働無し!!**を基本に共に頑張りましょう。集会に御参加された組合員の皆さま、お疲れ様でした。